

船舶事故等調査報告書

平成24年2月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011神第174号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年5月21日 08時00分（日本時間、以下同じ。）ごろ	
発生場所	中華人民共和国 ^{かんとうんすわとう} 広東省汕尾港入口 （概位 北緯23°21.1′ 東経116°45.9′）	
事故等調査の経過	平成23年11月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第五十八 ^{しんこう} 真好丸、498トン	
船舶番号、船舶所有者等	129943、有限会社戸田水産	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器翼に欠損等	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか6人が乗り組み、活魚積込みのため、船首約4.0m、船尾約5.5mの喫水で汕尾港入口付近を航行中、平成23年5月21日08時00分ごろ浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>本船は、機関を停止して船内外を点検したところ、特に異常が発見されなかったため、自力航行可能と判断し、航行を再開した。</p> <p>船長は、年に2～3回汕尾港に入港したことがあり、同港入口付近には浅瀬があることを知っていたが、水深の確認を行っていなかった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1m、潮汐 下げ潮の中央期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、汕尾港入口付近を航行中、船長が水深の確認を行っていなかったことから、同港入口付近の浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、汕尾港入口付近を航行中、船長が水深の確認を行っていなかったため、同港入口付近の浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅瀬の存在する海域を航行する際には、水路調査を行うこと。 	